

活躍する卒業生 橋本 堇さん ウェイトリフティング部出身 東京国際大学 2年 (33期生)



Fight!

【主な成績】

- <鳥羽高校在学中>
- 2018年ユースオリンピック競技大会出場
- アジアユース選手権大会第3位
- 日本高校新記録樹立
- <東京国際大学進学後>
- 2019年世界ジュニア選手権大会出場
- ジュニア日本新記録樹立

私は小学校からウェイトリフティングを始め、強豪校である鳥羽高校で3年間競技と勉学に励みながら高校生活を送りました。部活動では全国大会で団体優勝を4度経験させてもらい、チームに貢献することができました。また、国際大会にも出場させていただいたことで世界基準で競技に向き合うことができ、心身共に大きく成長できた3年間だったと思います。

今は東京国際大学で2024年パリオリンピックに向けて日々練習に取り組んでいます。高校で出逢った素敵な先生方や先輩方の御指導のお陰で今、自分がこの環境で競技に取り組んでいると思います。パリオリンピックでメダル獲得を目標にこれからも頑張りますので応援よろしくお願いします。

同窓会総会・懇親会のご案内

「同窓会総会・懇親会」は毎年11月～12月上旬に京都市内で開催しています。詳細は、京二中鳥羽高校同窓会のHPをご覧ください。同窓会では若い卒業生のみなさんの力を必要としています。お誘い合わせの上、多数の御参加をお待ちしています。

令和2年度 同窓会総会・懇親会について

令和2年度の京二中鳥羽高校同窓会総会・懇親会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止の観点から、多くの参加者が集まる開催は困難であるとの判断により、残念ながら開催中止といたしました。本来であれば、今年度は卒業して30年目の節目となる鳥羽高校5期生を中心に参加いただき、盛大に開催する予定でした。例年、懇親会では、鳥羽高校放送部の協力により作成した「京二中鳥羽高ものがたり」のDVD上映、参加者による在校当時の思い出のスピーチなどを行い、懐かしい旧友との再会や学年・世代を超えた新しい出会いの場となっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束し、来年度は総会・懇親会が盛大に開催できることを願っています。開催の折には、多くの卒業生の皆様の御参加を期待しております。

同窓会に入会されるみなさんへ

昨年はコロナ禍での三年生スタートということもあり、先生方は勿論のこと皆さまにおかれましては大変困惑したスタートだったと想像できます。特に三年生は、高校生活において人生を左右するといっても過言ではない一年間を過ごされました。その一年間を無事過ごされ、これから新たな世界へ羽ばたかれる皆様は、どんな困難にも打勝つ忍耐力と想像力を例年の卒業生をも凌ぐくらいに身につけられたと思います。このコロナ禍では、社会全体が大きな変化を迫られており、その変化の波のスピードは、デジタル化をはじめとし、想像をもはるかに超えて進んでいます。しかし、今年卒業される皆様を待ち構える世界は、デジタル一辺倒ではありません。デジタルとデジタルを繋げるのは結局は人と人なのです。この一年間で鳥羽高校の三年生は一致団結でき、横の繋がりをより強固にできたはずで、加えて、OBには色々な分野で活躍する方々がおられます。同窓会では横の繋がりは勿論のこと、特に縦の繋がりが今後の皆様に対し大きなものになってくると思います。

鳥羽高校という同じ学び舎で学んだ同士として、これからの人生においての一助となるべく、一緒にコロナ禍を乗り切り、笑顔で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

理事 小川 能弘

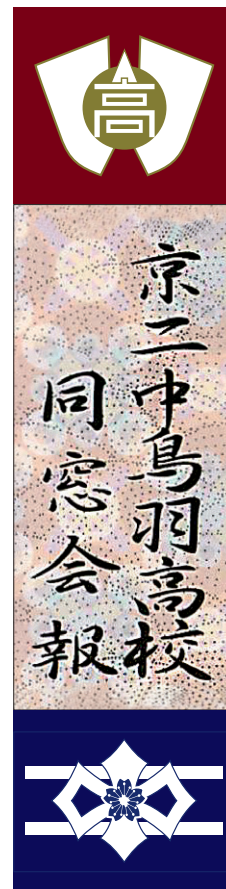
同窓会は鳥羽高校に、こんな支援をしています

- 全国・世界大会等出場生徒に対する激励金
- 生徒海外研修等の教育活動支援
- 卒業生への記念品
- 記念行事の際に学校と共催で実施 など

※今年度はコロナ感染対策用として「フェイスシールド」を支援しました。

『京二中鳥羽高ものがたり』発売中!

(京二中創立115周年記念) 頒価 1,000円
【お申込先】(株)昭英社 TEL 075-351-1811 (代)
京二中鳥羽高校同窓会



ご挨拶

京二中鳥羽高校同窓会会長 佐々木 克佳



平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大により自粛が続くにつれ終息するのを見えない毎日をお過ごしのことと、同窓会活動につきましても2月の同窓会入会式以降の理事会、役員会および同窓会総会・懇親会を中止せざるをえなくなり、理事による書面での総会議案承認と致しました。

また、コロナ禍だからこそ、同窓会として鳥羽高校の役割に立ちたいと考えていたところ、鳥羽高校から「れんが祭」催行にあたり生徒全員にフェイスシールドを配付したいので、同窓会で寄付をお願いしたい。との緊急要請がありました。私の一存で寄付を決定し、本来必要な手続を事後承認として、理事の皆さんにご説明したところ、皆さん快諾していただきました。鳥羽高校からは「同窓会の支援で生徒の安全を確保できた」と非常に感謝していただきました。

これこそが、同窓会の存在価値であると思えました。皆さんが集つての総会や懇親会も大切ですが、同窓会(同窓生)が現役の生徒に何ができるのか。先輩同窓生が後輩の同窓生にどのような貢献ができるのか。これを同窓会としてどのように行動していくのかを考えていきたいと思います。この状況が速く終息し、平穏な生活に戻れることを願っています。

ご挨拶

京二中鳥羽高校同窓会顧問 山内 健也



鳥羽高校教職員はじめ京二中鳥羽高校同窓会会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、篤く御礼申し上げます。そして、今年から同窓会の一員となられる皆さん、高校ご卒業、同窓会へご入会、おめでとございます。皆さん

このこれからの活躍をお祈りいたします。併せて、皆さんが同窓会で得られる幅広い人との繋がりを、有意義に活かしていただきますようお願いいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に因って、多方面で社会活動に制約がありました。同窓会もまた、例年通りの取り組みは出来ませんでした。総会に就いては、ホームページ上での報告という形になりましたが、佐々木会長はじめ役員の皆様には、普段にも増してご考慮頂いたこととお察しいたします。この状況は、未だ先が見通せません。鳥羽高校を縁に人の繋がりを広げ、母校を応援するという同窓会本来の働きを果たすにも、工夫が要るのかも知れません。

今、私の周囲を見渡しますと、誰もが次に向かって持続もしくは展開するために、自ら状況を見据え、考え、決心を持って行動していることがよくわかります。困難な時こそ、自身の取り組みについて、よく考える好機なのです。同窓会が、今後どのような展開を目指すのか、より良い方向へ進むよう、新たな手法も活用しながら、学校と、会長を先頭とした同窓会に関わる皆で、知恵を出し合って行ければと思います。

関東でも京二中鳥羽同窓会

関東京二中鳥羽同窓会の御紹介

この度は御卒業おめでとうございます。新たに同窓会の一員となる皆様を、心より歓迎いたします。

私は現在、京都を離れ関東に在住しておりますが、関東では京都二中・鳥羽高校卒業生による「関東・京二中鳥羽同窓会」をささやかながら運営しております。現在、主だった活動としては毎年11月に関東同窓会としての集まりを開催しております。昨年は新型コロナウイルスの影響により、我々の大半が居住する一都三県でも行動の自粛が求められ、鳥羽一期生を中心とする幹事会でも協議の結果、関東同窓会の中止を決定致しました。例年ですと東京駅近辺の会場に京二中・鳥羽高校卒業生が集結し、楽しい時間を過ごしていたのですが非常に残念な結果となりました。中止の旨を二中卒業生の皆様にメール・電話にて御報告したのですが、嬉しいことに卒業生の方は皆、非常にお元気に過ごされている様子でした。今回は是非、開催出来るよう心から願っております。例年、小規模な集まりではありますが、卒業生同士の絆を深める大事な場として活動を継続しております。ご興味のある方は是非、御一報下さい。(副会長 奈佐 和也)

【連絡先】 <http://kntk2ctoba.blog135.fc2.com/> [✉ knt.k2c.toba@gmail.com](mailto:knt.k2c.toba@gmail.com)

京二中鳥羽高校同窓会 (京都府立鳥羽高等学校内)

〒601-8449 京都市南区西九条大国町1

TEL:075-672-6788 FAX:075-691-7448

URL <http://www.kyo2toba-dosokai.jp> (右)



今年の卒業生からのメッセージ

今北 堅信さん(京都市立二条中学校出身)



私は鳥羽高校に入学して社会に通用する人間に成長するという目標を立て、この三年間励んできました。鳥羽高校は挨拶や礼儀、身だしなみなどを厳しく指導されており、このようなことは社会に出てから当たり前のようにしないとイケないため、御指導をいただきとても感謝しています。私に関係していただいた方々、本当にありがとうございました。

伊藤 つくしさん(京都市立西京極中学校出身)



私はこの三年間で、主体性を持ち行動することで日々の学びを充実したものにすることができると感じました。また、勉強面での学びだけでなく、探究学習の活動からは、何事にも多くの視点に立って取り組み、文理を問わずたくさんの方々の幅広い見聞を持つことが大切だと学びました。この姿勢を大切に将来を形成していこうと思います。

竹花 統吾さん(京都市立西京極中学校出身)



私の鳥羽高校での3年間は、とても実りのあるものでした。時には勉強しても結果がでないこともありましたが、真摯に生徒と向き合ってください先生方と互いの成長を喜びあえる友達がいたことで、諦めずに学び続けることができました。これからは、人に支えられるだけでなく、人を支えていけるよう努めていきます。

冨塚 康幸さん(京都市立安祥寺中学校出身)



私はこの三年間で、沢山のひとと出会い、沢山のことを学び、沢山の素晴らしい経験ができました。個性豊かな仲間や先生がいてくれたから勉強もれんが祭などの行事も全力で楽しんで取り組む事ができました。この出会いには感謝しかありません。そしてこれを糧に新たな世界を開拓していきたいです。



前向きに、たくましく

京二中鳥羽高校同窓会顧問
京都府立鳥羽高等学校校長 川口 浩文

京都二中、鳥羽高校の同窓の皆様、そして旧教職員の方々におかれましては、平素から本校の教育活動に御理解・御協力いただきと共に、母校発展のため教育振興に係る御支援を賜っておりますことに、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大は、四月・五月の学校休校や、部活動の各種大会の中止、研修旅行の中止などの大きな影響を在校生に与え、今も感染拡大防止に懸命に努めながら教育活動を行う状況にあります。また、言うまでもないことですが、コロナ禍は社会全体に影響を与えており、同窓の皆様も大きく変化されたことだと思います。本年度一年間、在校生たちは、自分たちの生活に影響を与えているコロナ禍が、社会全体に及ぶものであることを自覚し、感染予防を意図した生活は自分と身近な人を守るだけでなく、医療危機の改善につながるなど社会全体の回復につながることを意識しながら、前向きに高校生活を送っています。そのような中、九月のれんが祭は、従来の合唱や演劇から、密を避けるために展示やグラウンドでのパフォーマンスに企画内容を変更して実施しました。残暑の中、熱中症にも留意しながら感染拡大防止に努める難しさを感じていた時、同窓会から御支援をいただいた、生徒全員にフェイスシールドを配付できることになりました。その大きな支援に感謝するとともに、折々に在校生を気にかけていただく諸先輩の御配慮に触れて、意を強くした次第です。昨年度までの五年間、本校は、国のスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受け、新たな価値を創造するグローバル・リーダーの育成に努めてきました。この実践に高い評価をいただき、本年度はWFL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業において、全国で22校しかないカリキュラム開発拠点校(事業主体京都府教育委員会)の指定を受けて活動しています。また、冷泉流披露による歌会や華道パフォーマンス等の伝統文化に浸る活動や高いレベルのスポーツ活動などは、コロナ禍の中でも、様々な工夫をしながら行ってきました。種々の活動の様子は、京都府WFLプラットフォームのホームページや本校ホームページに掲載していますので、御覧いただけましたら幸いです。

昨秋、京都文化博物館の総合展示で、本校に所在する京二中の価値ある「たからもの」を約三ヶ月間展示していただきました。解説パネルの作成には本校在校生が関わっており、長きにわたって連なる京二中・鳥羽高校の伝統を表象する場となりました。校庭の四季の移り変わりとともに青春の日々を過ごし、社会に巣立っていった同窓生の皆様、ますます会員の皆様の友誼を深められますとともに、母校にてたくましく、しなやかに今を生きていく若者たちの成長の姿を見守ってくださいますようお願いいたします。今後とも、母校発展に向けてお力添えいただきますことを重ねてお願いいたします。御挨拶とします。

京二中鳥羽高校同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は、京二中鳥羽高校同窓会と称し、その本部を京都府立鳥羽高等学校内に置く。
第二条 本会は、会員相互の友誼を深め、母校の発展に貢献することを目的とする。

第二章 会員

第三条 本会は、下記の会員をもって構成する。
一 正会員
※京都府立京都第二中学校卒業生
※京都府立鳥羽高等学校全日制卒業生
※両校に在学した者で、会員の紹介により理事会が入会を承認した者

特別会員

二 両校現旧教職員、または理事会の推薦する者
第四条 会員は、住所、氏名、その他名簿記載事項に変更のあった場合は、本会に通知しなければならない。

第三章 役員

第五条 本会に下記の役員を置き、任期は各二年とし、重任をさまたげないものとする。
一 名誉会長
二 会長
三 正会員の中から理事会の議を経て会長が推挙する。
四 正会員の中から一名を理事

三 副会長

両校ごとの正会員の中から若干名を会長が指名する。

四 理事

両校ごとの正会員及び特別会員の中から若干名を、また、ほかに母校の現職員の特別会員の中から幹事会の推薦によつて会長が委嘱する。

五 幹事

正会員の中から原則として卒業年度ごとに二名を選出する。

六 監事

正会員の中から二名を会長が指名する。

七 顧問

母校現職校長を推し、また、会員の中から会長が推挙する。

第六 役員

役員の任務は次のとおりとする。
一 名誉会長及び顧問は、会務運営について必要な助言を与える。
二 会長は、本会を代表し会務を統括する。また、総会、理事会、幹事会を招集してその議長となる。
三 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は代行する。

三 副会長

理事は、理事会に出席して会務を協議、執行する。理事のうち、会長の指名する若干名で本会の庶務会計に関する日常事務を担当する。

四 理事

正会員の中から一名を理事とする。

五 幹事

その卒業年度の会員の連絡に当り、また、幹事会に出席し、理事会の決議に基づき会務を担当する。監事は、会計に関する事項を監査する。

第四章 事業

第七条 本会は、その目的を達成するために、下記の事業を行う。
一 総会
二 臨時総会を開く。
三 必要ときに開く。
四 理事会において適切と認められる事業。

第五章 会計

第八条 本会の経費は、会費、寄付金、事業収益金、財産収益金、その他をもってこれにあてる。
第九条 正会員は、卒業時に終身会費を納入する。その額は理事会において定める。
第十条 総会及び各種集会に要する経費は、そのつとこれを定める。原則として出席者から徴収する。
第十一条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。
第十二条 会計及び事業報告は、総会においてこれを行う。

第六章 支部

第十三条 会員の多数存在する地方に本会支部を設けることができる。

支部の設置及びその規約は、理事会の承認を得なければならない。

第十四条 支部は、その代表者より支部会員の名簿、役員を指名し、常に本部との連絡を保たなければならない。

第七章 規約の変更

第十五条 規約は、理事会の決議によつてこれを変更することができるが、次の総会において、その承認を得なければならない。

附則

一 昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。
二 本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。
三 本規約は、平成二十七年十一月三日の一部改正する。
四 平成二十八年卒業以降の正会員の終身会費は、四〇〇〇円とする。

令和2年度卒業生 同窓会幹事紹介

1組	今北 堅信	福嶋 理公
2組	影 優	寺井 悠人
3組	定 桜	◎ 富塚 康
4組	太 葉	富塚 陽
5組	竹 統	田村 愛
6組	伊 つくし	◎ 岡本 麻衣
7組	◎ 岩崎 由季	岡本 翔
8組	上 彩乃	森田 智大
	命 竜也	

(◎は、学年代表幹事)

令和2年度 京二中鳥羽高校同窓会 役員名簿

役職	期	氏名	役職	期	氏名
名誉会長	京二中49	内田 昌一	理事	京二中47	向井 博一
顧問	校長	川口 浩文	理事	京二中48	那須 信孝
顧問	鳥羽1	山内 健也	理事	鳥羽4	藤澤 正則
会長	鳥羽2	佐々木 佳佳	理事	鳥羽5	小川 能弘
副会長	京二中45	國井 和扶	理事	鳥羽15	市川 靖久
副会長	鳥羽1	奈佐 和也	理事	鳥羽1	村田 純子
副会長	鳥羽3	乾 明紀	理事	鳥羽3	藤田 雅伊
副会長	鳥羽5	岩佐 隆	監事	鳥羽3	谷内 伊吹

